

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年8月13日

東

上場会社名 株式会社メドレー 上場取引所
 コード番号 4480 URL <https://www.medley.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 浩平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 田丸 雄太 (TEL) 03(6372)1265
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,538	55.4	1,036	98.6	824	81.9	836	84.3	555	46.5
2020年12月期第2四半期	3,564	—	522	—	452	—	453	—	379	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 559百万円(47.6%) 2020年12月期第2四半期 379百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	17.74	17.02
2020年12月期第2四半期	13.41	12.24

(注) 1. EBITDA = (営業損益 + 減価償却費・のれん償却費・株式報酬費用)

なお、前第2四半期連結累計期間はのれん償却費の発生がないためEBITDAに含まれておりませんが、第1四半期連結累計期間より経営成績の連結を行っている子会社ののれん償却費をEBITDAの算出に含めております。また、前第2四半期連結累計期間は株式報酬費用の発生がないため、EBITDAの算出には含まれておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	21,530	15,663	72.7
2020年12月期	15,519	9,717	62.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 15,648百万円 2020年12月期 9,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,770	57.7	670	23.5	160	△59.6	180	△57.4	20	△95.6	0.62
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	11,270	65.0	1,170	115.6	660	66.6	680	60.9	480	5.3	14.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

新規 2社（株式会社パシフィックメディカル、株式会社メディパス）

なお、連結子会社である株式会社パシフィックシステムは、2021年4月1日付で株式会社パシフィックメディカルに商号変更しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	32,145,700株	2020年12月期	30,889,100株
2021年12月期2Q	—株	2020年12月期	—株
2021年12月期2Q	31,312,829株	2020年12月期2Q	28,285,986株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、医療や介護の提供体制を担う人材の不足や財源問題が引き続き継続し、有効求人倍率も全産業平均と比較して高い水準で推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」という。）の感染の再拡大を受け、2021年4月に、東京・大阪等の大都市圏を中心とした3回目となる緊急事態宣言が発令されましたが、期限延長を経て、同年6月に沖縄県を除き解除されました。また、主に発症や重症化の予防が期待されるワクチンの接種が全国的に開始されました。

このような事業環境のもと、人材プラットフォーム事業の売上高は、人材採用システム「ジョブメドレー」においてワクチン接種による採用プロセスの遅延等の影響が医科・介護領域にて発生したものの、株式会社メディパスのオンライン研修事業の連結化等により、増収となりました。

また、医療プラットフォーム事業においても、医療機関のワクチン接種対応による影響が一部見られたものの、各プロダクトの販売が堅調に推移したことに加え、株式会社メディパスの一部事業及び株式会社パシフィックメディカルとの連結化により、増収となりました。売上高が伸長する一方で、引き続き事業規模拡大に向けて人材プラットフォーム事業におけるシステムの機能開発や人員増強等の継続成長投資、並びに医療プラットフォーム事業における開発人員の増強をはじめとした先行投資を積極的に実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,538,700千円（前年同期比55.4%増）、EBITDA1,036,978千円（前年同期比98.6%増）、営業利益824,087千円（前年同期比81.9%増）、経常利益836,146千円（前年同期比84.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は555,391千円（前年同期比46.5%増）となりました。

なお、人材プラットフォーム事業においては、当社グループのサービスを利用して入職した求職者が求人事業所に入職した日付を基準として売上高を計上しているため、一般的に年度の始まりとされている4月に入職が増え、同月に売上高が偏重する傾向があります。そのため、当社グループの業績は、第2四半期連結会計期間に売上高が偏重する傾向があります。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

なお、セグメント間取引消去額及び各セグメントに配賦されてない全社共通費用の総額は883,440千円（前年同期比27.8%増）です。

①人材プラットフォーム事業

当第2四半期連結累計期間では、人材採用システム「ジョブメドレー」において、COVID-19のワクチン接種による入職時期の遅延等、採用プロセスへの影響が一定程度見られたものの、利便性の向上に向けたサービスサイトの機能改善を継続的に実施したこと等により応募数が伸長し、顧客事業所数が前連結会計年度末比8.8%増の235,000件強、掲載求人数は前連結会計年度末比2.7%増の220,000件強となりました。

また、2021年3月に連結子会社化（完全子会社化）した株式会社メディパスのオンライン研修事業が当セグメントに加わりました。

以上の結果、セグメント売上高は4,143,705千円（前年同期比37.7%増）、全社共通費用配賦前のセグメント利益（営業利益）は1,962,440千円（前年同期比36.5%増）となりました。

②医療プラットフォーム事業

当第2四半期連結累計期間においては、医療機関におけるCOVID-19のワクチン接種対応による影響を一定程度受けたものの、各プロダクトの販売は堅調に推移しました。2021年1月に中小病院向けの電子カルテ「MALL」の開発及び提供を行う株式会社パシフィックメディカルを連結子会社化した結果、医療プラットフォーム事業全体の利用医療機関数は前連結会計年度に引き続き増加し、前連結会計年度末比125.3%増の7,033件に至っております。また、2019年3月に連結子会社化（完全子会社化）した株式会社NaClメディカルは、医事会計ソフトウェア「ORCA」の受託開発を担い、オンライン医療事典「MEDLEY」においては、継続的なコンテンツの更新及び拡充を実施しました。加えて、2021年3月に連結子会社化（完全子会社化）した株式会社メディパスの一部事業が当セグメントに新たに加わりました。

以上の結果、セグメント売上高は1,276,961千円（前年同期比153.8%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は223,541千円（前年同期は営業損失253,421千円）となりました。

なお、当該営業損失が発生している要因としては、主にかかりつけ薬局支援システム「Pharms」の新規利用医療機関の獲得や機能拡充、並びにクラウド診療システム「CLINICS」の患者ユーザー向け機能拡充に向けた成長投資に加え、株式会社パシフィックメディカル及び株式会社メディパスの連結子会社化によるのれん償却費の計上等が挙げられます。

③新規開発サービス

当第2四半期連結累計期間においては、「介護のほんね」は継続的なコンテンツ拡充及び紹介可能施設数の拡充のための積極的な営業活動を実施しました。また、株式会社メディパスの一部事業が当セグメントに加わりました。

以上の結果、セグメント売上高は118,152千円（前年同期比127.6%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は31,369千円（前年同期は営業損失40,600千円）となりました。

なお、当該営業損失が発生している要因としては、主に「介護のほんね」において最適な収益構造の確立に向けた投資を実施していることが挙げられます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,464,119千円となり、前連結会計年度末に比べ3,918,455千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3,299,810千円及び売掛金が482,121千円増加したことによるものであります。固定資産は2,983,184千円となり、前連結会計年度末に比べ2,049,714千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が98,613千円及びのれんを含む無形固定資産が1,716,174千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は21,530,966千円となり、前連結会計年度末に比べ6,010,973千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,094,843千円となり、前連結会計年度末に比べ151,014千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が261,360千円、1年内返済予定の長期借入金が116,686千円、未払金が87,532千円、前受金83,769千円、賞与引当金49,026千円及び買掛金22,063千円増加した一方で、短期借入金が500,000千円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,772,723千円となり、前連結会計年度末に比べ85,845千円減少いたしました。これは主に長期借入金が277,601千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,867,566千円となり、前連結会計年度末に比べ65,168千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は15,663,399千円となり、前連結会計年度末に比べ5,945,804千円増加いたしました。これは資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,688,873千円並びに利益剰余金が555,391千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,037,045千円増加し、17,089,079千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、795,165千円（前第2四半期連結累計期間は398,251千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益859,245千円に、のれん償却100,705千円、減価償却費95,007千円、売上債権の増加額151,374千円、前受金の増加額56,482千円、未払金の減少額24,280千円、法人税等の支払額85,029千円等を調整したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、2,104,203千円(前第2四半期連結累計期間は107,800千円の支出)となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得費用1,888,751千円、敷金及び保証金の差入による支出107,863千円並びに無形固定資産の取得による支出91,572千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、4,346,083千円(前第2四半期連結累計期間は712,664千円の獲得)となりました。これは株式の発行による収入5,323,169千円、短期借入金の返済による支出540,000千円及び長期借入金の返済による支出437,086千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期連結業績予想につきましては、2021年2月12日付「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更いたしました。詳細は、2021年3月17日付で公表しております「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」(以下「2021年12月期通期連結業績予想の修正値」という。)をご参照ください。なお、当第2四半期連結累計期間において、営業利益以下の利益指標が2021年12月期通期連結業績予想の修正値の上限値を超えておりますが、当第3四半期以降も積極的な成長投資を継続することから、2021年12月期通期連結業績予想の修正値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,052,034	17,351,845
売掛金	300,272	782,393
商品及び製品	11,657	32,108
仕掛品	4,338	4,801
前払費用	71,963	150,882
未収収益	2,134	373
その他	134,327	179,572
貸倒引当金	△31,065	△37,857
流動資産合計	14,545,664	18,464,119
固定資産		
有形固定資産	67,520	166,134
無形固定資産		
のれん	80,828	1,769,811
その他	282,419	309,611
無形固定資産合計	363,247	2,079,422
投資その他の資産	502,702	737,628
固定資産合計	933,470	2,983,184
繰延資産	40,858	83,661
資産合計	15,519,992	21,530,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,287	79,350
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	825,826	942,512
未払金	587,056	674,588
未払費用	72,609	71,826
前受金	421,392	505,162
預り金	141,492	152,242
未払法人税等	112,300	373,660
未払消費税等	193,866	195,885
賞与引当金	—	49,026
返金引当金	10,656	16,673
勤続支援金引当金	19,368	28,608
その他引当金	1,971	1,310
その他	—	3,996
流動負債合計	2,943,829	3,094,843
固定負債		
長期借入金	2,858,569	2,580,968
その他	—	191,755
固定負債合計	2,858,569	2,772,723
負債合計	5,802,398	5,867,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,968,433	6,657,306
資本剰余金	5,790,380	8,479,253
利益剰余金	△43,151	512,240
株主資本合計	9,715,662	15,648,800
新株予約権	1,932	878
非支配株主持分	—	13,720
純資産合計	9,717,594	15,663,399
負債純資産合計	15,519,992	21,530,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,564,832	5,538,700
売上原価	1,000,120	1,781,372
売上総利益	2,564,712	3,757,327
販売費及び一般管理費	2,111,719	2,933,239
営業利益	452,992	824,087
営業外収益		
受取利息	12	90
受取和解金	3,750	14,000
助成金収入	—	13,478
雑収入	1,226	6,385
その他	1,253	2,009
営業外収益合計	6,242	35,963
営業外費用		
支払利息	4,012	10,448
株式交付費償却	1,541	10,969
その他	—	2,485
営業外費用合計	5,554	23,904
経常利益	453,681	836,146
特別利益		
事業譲渡益	—	23,195
特別利益合計	—	23,195
特別損失		
固定資産廃棄損	—	96
特別損失合計	—	96
税金等調整前四半期純利益	453,681	859,245
法人税等	74,495	299,598
四半期純利益	379,185	559,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	379,185	555,391

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	379,185	559,647
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	379,185	559,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,185	555,391
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4,255

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	453,681	859,245
減価償却費	69,278	95,007
のれん償却額	—	100,705
敷金償却費	2,933	3,973
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,132	6,792
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,461	40,026
受取利息及び受取配当金	△12	△90
支払利息	4,012	10,448
株式交付費償却	1,541	10,969
受取和解金	△3,750	△14,000
固定資産廃棄損	—	96
事業譲渡損益(△は益)	—	△23,195
売上債権の増減額(△は増加)	△166,926	△151,374
たな卸資産の増減額(△は増加)	△538	11,928
仕入債務の増減額(△は減少)	137	15,060
未払金の増減額(△は減少)	△71,307	△24,280
前受金の増減額(△は減少)	161,491	56,482
その他	△5,726	△115,600
小計	459,486	882,196
利息及び配当金の受取額	12	90
利息の支払額	△4,505	△10,620
和解金の受取額	10,596	8,528
法人税等の支払額	△67,337	△85,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	398,251	795,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
定期預金の払戻による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△16,569	△24,569
無形固定資産の取得による支出	△91,230	△91,572
敷金及び保証金の差入による支出	—	△107,863
敷金及び保証金の回収による収入	—	7,815
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,888,751
その他	—	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,800	△2,104,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△540,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△102,928	△437,086
株式の発行による収入	315,592	5,323,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	712,664	4,346,083
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,003,115	3,037,045
現金及び現金同等物の期首残高	4,477,395	14,052,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,480,511	17,089,079

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、2021年5月11日を払込期日とした株式会社NTTドコモからの第三者割当増資、及び新株予約権の行使等により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,688,873千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が6,657,306千円、資本剰余金が8,479,253千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末まで連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「採用祝い金引当金」は、第1四半期連結会計期間より「流動負債」の「勤続支援金引当金」として科目名を変更して表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,009,876	503,043	51,912	3,564,832	—	3,564,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,009,876	503,043	51,912	3,564,832	—	3,564,832
セグメント利益又は損失(△)	1,438,202	△253,421	△40,600	1,144,180	△691,187	452,992

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△691,187千円はセグメント間取引取消額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,143,585	1,276,961	118,152	5,538,700	—	5,538,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	—	—	120	△120	—
計	4,143,705	1,276,961	118,152	5,538,820	△120	5,538,700
セグメント利益又は損失(△)	1,962,440	△223,541	△31,369	1,707,528	△883,440	824,087

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△883,440千円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに
配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社パシフィックメディカル及び株式会社メディパスの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は「人材プラットフォーム事業」で698,336千円、「医療プラットフォーム事業」で1,068,569千円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。